

ご報告と今後の活動について

令和 8 年 7 月 14 日
川西市議会議員 長田たくや

皆さんに、大切なご報告があります。

私、兵庫県川西市議会議員の長田拓也は、今回、参政党の公認を得ることができませんでした。そのため、次の選挙に向けて、無所属での挑戦を予定し、準備を進めております。

正直に言えば、悔しさはあります。

これまで参政党の活動、選挙応援、勉強会、会議、イベントにも可能な限り参加し、市政報告会は 30 回以上開催してきました。また、講演会やイベントの企画なども主催し、自分なりに誠実に活動してきたつもりです。

参政党を通じて政治に関わるきっかけを頂いたこと、そして多くの仲間と出会えたことには、とても感謝しております。ありがとうございました。

私が大切にしてきたのは、政治に関心のある人たちだけで内向きに盛り上がるのではなく、まだ政治に関心のない方々に、どうすれば届くのかという「視点」です。政治そのものに距離を感じている人もいます。

だから私は、身近な市政の話題、医療健康の問題、共通の趣味の話題、例えば鳥やアニメなど、そのような発信をしてきました。まず「長田たくや」を知っていただく。そこから日本の歴史と未来に興味・関心を持っていただく。そして、政治を、その先に参政党のことを知っていただき、自分で考えることで意識が変わっていく。

私はそのような入口を作ることが、自分の役割だと思ってきました。

もしかすると、その姿勢が十分に理解されなかったのかもしれませんが。それも含めて、私自身の至らなさだと思います。

市政においては、私はこれまで、川西市全体、市民の暮らしをどう良くするかを考えて活動してきました。ごみ行政については、市民の負担をこれ以上増やしてはいけないという想いで取り組んできましたし、薬剤師でもありますから、特にコロナ禍においては、不確かな情報や偏った情報によって多くの方の人権が傷つけられたと医療現場の目線からもそう感じておりました。

あのようなことを、絶対に繰り返してはいけない。

だからこそ、医療や行政の情報を冷静に見極め、市民の暮らしを守る政治が必要だと考えています。

これからは無所属での活動となります。

だからこそ、党派ではなく、長田拓也本人の仕事、実績、政策を見ていただきたいと思っています。

毎日ブログを発信しています。たまの雑談を含めて自分の学習記録用として書いていましたが、まもなく累計100万ビューに達します。市政だけでなく、医療や身近な話題も含め、「政治に関心のない方にも読んでもらえる発信」を続けています。勉強になるよとの嬉しいお声も頂戴しています。

公認が得られない。これは6月末に決まったもので、急な方向転換となりました。正直、時間的にも厳しい状況です。組織も、人手も、資金も十分ではありません。それでも、川西市議でいてほしいとの声もあり、ここで諦めるわけにはいきません。

今回のことは私にとって大きな転機となりました。しかし、目指す政治は何も変わりません。政治活動を続けるためのボランティア、SNSでの発信協力、そして可能な範囲でのご支援をお願いします。川西市、兵庫県、そして「日本」のために働く。その覚悟で、これからも活動を続けてまいります。

長田拓也